

スクールカウンセリングの発展

一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会

理事長 石隈 利紀



本協議会は、2009年（平成21年）、スクールカウンセリングの充実を目的として、スクールカウンセリングに関する6資格7団体で、結成されました。

スクールカウンセリングは、すべての子どもの学業面、進路・キャリア面、心理・社会面、健康面における発達課題への取り組みを援助する活動です。関わるみなさまと協力し、「チーム学校」を実現しながら、子どもたちの学校生活の質の維持向上を図っております。

【ガイダンスカウンセラーの可能性と役割】

当協議会が認定するガイダンスカウンセラーは、文部科学省のスクールカウンセラー等活用事業において、数多くスクールカウンセラーとして採用され、活躍しているところです。

ガイダンスカウンセラーは「心理及び学校教育に関して専門的な知識・経験を有する者」として、課題を抱えた児童生徒、保護者、先生方の個別面接に加えて、予防的な集団指導、学校全体でのチーム対応、児童生徒のキャリア支援などへも力を発揮することが期待されています。

なおこのたび、「スクールカウンセラー等活用事業に関するQ&A」文部科学省初等中等教育局児童生徒課（令和2年10月）において、ガイダンスカウンセラー資格が例示されております。

《「スクールカウンセラー等活用事業に関するQ&A」より抜粋》

Q3. スクールカウンセラーの選考に当たり、必要な資格はありますか。
A3. スクールカウンセラー等活用事業実施要領においては、SCの選考に当たり、以下の資格等を求めています。

- ① 公認心理師
- ② 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の認定に係る臨床心理士（中略）
- ⑤ 都道府県又は指定都市が上記の各者と同等以上の知識及び経験を有すると認めた者

なお、上記⑤については、各教育委員会において適切に判断していただく必要がありますが、例えば、学校現場における心理支援の実務の実績を重視する一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会の認定に係るガイダンスカウンセラーなど、心理及び学校教育に関して専門的な知識・経験を有する者が想定されます。（後略）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/20201012-mxt_kouhou02-01.pdf

有資格者2万人のネットワーク



【構成団体及び資格】

一般社団法人日本学校教育相談学会

・学校カウンセラー 約770名

一般社団法人学校心理士認定運営機構

・学校心理士 約4,200名

日本キャリア教育学会

・キャリア・カウンセラー 約150名

NPO法人日本教育カウンセラー協会

日本教育カウンセリング学会

・教育カウンセラー 約10,000名

一般社団法人日本カウンセリング学会

・カウンセリング心理士（認定カウンセラー）

約820名

臨床発達心理士認定運営機構日本臨床発達心理士会

・臨床発達心理士 約3,500名

スクールカウンセリングの 実践と研究を促進します

スクールカウンセリングとは、学校等（保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、専修学校、各種学校など）において、子どもたちの学業面、進路・キャリア面、心理・社会面、健康面における発達課題への取り組みを援助する専門的な活動である。



スクールカウンセリングの4領域

一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15 アトラスタワー3F

Tel:03-3941-8049 FAX:03-3941-8116 info@jsca.guide

ホームページはこちらから

<http://jsca.guide/>



【概要】

○設立

2009年5月25日（一般社団法人としては2015年4月1日）

○役員

理事長：石隈利紀

副理事長：春日井敏之，八並光俊，河野義章，下村英雄，河村茂雄，飯田俊穂，黒田美保

理事：田中充，金子恵美子，田村節子，西山久子，三村隆男，渡辺芳生，会沢信彦，藤川章，荻間澤勇人，熊谷圭二郎，伊澤成男，井ノ山正文，星茂行，東敦子，新井邦二郎，加勇田修士，飛田浩昭，新井雅，東則孝

監事：根本節子，岡田弘

事務局長：東則孝

○活動目的

子どもたちが発達課題に取り組み，成長することを援助するスクールカウンセリングを有効に機能させるチーム学校体制のあり方について検討し提言を行うとともに，スクールカウンセリングを担う諸資格の交流を促進するほか，スクールカウンセリングに関する「ガイダンスカウンセラー」の資格を認定し，スクールカウンセリングの学校教育への普及定着をはかる。

○活動目標

- ① すべての教員および教育相談コーディネーターのスクールカウンセリングの資質を向上する
- ② スクールカウンセリングに関する資格を有するスクールカウンセラーや教育分野で働く公認心理師等への研修機会を提供する
- ③ スクールカウンセリングに関する制度の改善・改正を提案する

【文部科学省への要請事項】

- ・スクールカウンセラーの要件としてガイダンスカウンセラー等を明記する
- ・スクールカウンセリングの資格を有する教員を教育相談コーディネーターとして活用する など

【子どもたちへの援助の特色】

スクールカウンセラーは，すべての子どものための「学校のカウンセラー」です。さらに苦戦する一部の子どもや特定の子どもへの援助を行います。

下図に三段階の支援を示しました。すべての子どもを対象に，その発達課題の達成を支援する活動を一次的援助サービスと位置づけます。次に苦戦している子どもや（転校生など）苦戦するかもしれない子どもを対象に，その子どもの援助ニーズに応じる活動が二次的援助サービスとなります。さらに不登校やいじめ，発達障害などで特別な教育ニーズのある子どもに対する支援活動を三次的援助サービスとしています。

スクールカウンセラーは，リーダーあるいはコーディネーターとしてこれらの三段階の援助サービスを行います。そのうえで家庭や地域と連携して子どもたちの援助にあたります。



スクールカウンセリングの援助の特色

(石隈利紀1999「学校心理学」誠信書房の図を元に作成)

【スクールカウンセリングで提供するサービス】

1. アセスメント

子ども・学級・学校の状況の情報を収集・分析し，援助計画に関する資料を作成する。

2. 集団対応

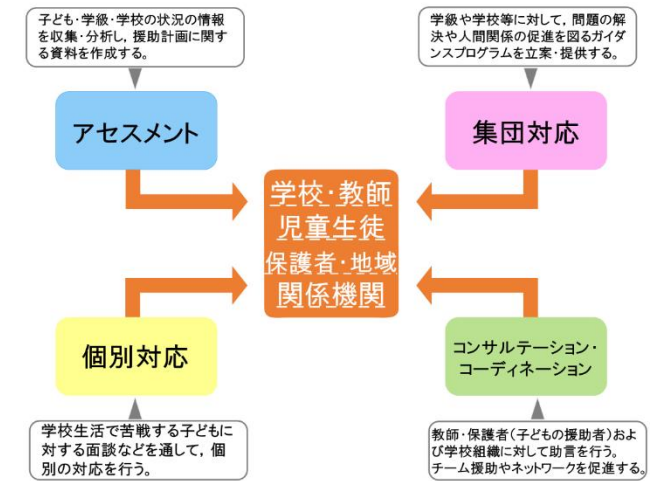
学級や学校等に対して，問題の解決や人間関係の促進を図るガイダンスプログラムを立案・提供する。

3. 個別対応

学校生活で苦戦する子どもに対する面談などを通して，個別の対応を行う。

4. コンサルテーション・コーディネーション

教師・保護者（子どもの援助者）および学校組織に対して助言を行う。チーム援助やネットワークを促進する。



スクールカウンセリングで提供するサービス